

金魚ちょうちんのふるさと 青森県弘前市との交流



▲弘前市の金魚ねぶた

柳井の金魚ちょうちんは、青森県弘前市の「金魚ねぶた※」にヒントを得て、江戸時代後期に柳井縞の染料を使って作られたことが始まりだと言われています。そのつながりから弘前市と交流を深める柳井市白壁の町並みを守る会会長の木阪泰之さんに話を聞きました。

※金魚ねぶた

「ねぶた」は「ねぶた」と同義ですが、方言の違いで弘前市では「ねぶた」、青森市では「ねぶた」と呼ばれます。



柳井市白壁の町並みを守る会
会長 木阪 泰之さん

弘前市との交流

弘前市との交流は、令和元年に本会の40周年記念事業として始まりました。まずは(一社)弘前文化財保存技術協会理事長の今井二三夫さんに柳井で講演していただきました。今井さんとは意気投合して交流を続けることになり、今度は本会会員が弘前市を訪れ、講演や弘前ねぶた祭りでの練り歩きなどを行いました。新型コロナウイルスの感染拡大が本格化した後も、弘前市で金魚ちょうちんを飾っていただくなど、できる形で交流を続けてきました。



▲(上) (一社)弘前文化財保存技術協会の皆さんと / (下) 弘前ねぶた祭りでの金魚ちょうちんの練り歩きの様子

弘前ねぶたの製作

次なる取り組みとして、弘前ねぶたを柳井で紹介したいと思いました。せっかくなら作ってみてはという話になり、私が会長を務める市観光協会と有志の皆さん50人程度で6月から本格的に製作を始めています。完成したねぶたは今夏の金魚ちょうちん祭りで展示します。



▲製作前の説明会。弘前市との交流に当初から関わる三上さん(写真右)に協力をいただきながら製作を進めています。

弘前の皆さんとともに製作

三上さんには柳井まで何度も足を運んでいただいています。また、弘前の絵師さんに金魚ちょうちんをあしらったオリジナルの絵をねぶたに描いていただくなど、弘前の皆さんと一緒に製作することがより深い交流につながっていると感じています。弘前のねぶたを柳井で紹介できることは感慨深いです。



▲実際の弘前ねぶた。大きさは1つひとつ異なり、平均で高さ7mにもなります。

弘前ねぶた 製作の様子を紹介します



▲ねぶた本体の骨組みを製作中。皆さん猛暑に負けず懸命に作業しています。



▲ねぶた上部の扇部分の骨組みです。製作するねぶたの大きさは白壁の町並みに合わせたサイズになります。

地道に交流を続けたい

これまで少しずつ培ってきたつながりを絶やさないう交流を続けていきたいです。そしてお互いの文化や教養を深め、新たな何かが生まれるきっかけになればと期待しています。

特集 各地で愛される 金魚ちょうちん



グランドプリンスホテル
新高輪(東京都)



アトレ吉祥寺(東京都)



ふるさと祭り東京(東京ドーム)



すみだ水族館(東京都)



東京スカイツリー展望台



アクアリウム東京

柳井の夏の風物詩として、白壁の町並みをはじめ多くの場所に装飾されてきた「金魚ちょうちん」。近年、金魚ちょうちんは各地のイベント、テレビドラマやコマーシャルなどに登場しています。今号では、金魚ちょうちんの人気の広がりや、そこから生まれた交流を紹介します。

●問い合わせ 商工観光課 ☎2111 内線 363

市や県の顔役を担う金魚ちょうちん

市地域ブランド「きんさい柳井」に認証

市では現在、産業や歴史文化、自然など64種類を市の優れた地域資源として認証しています。中でも金魚ちょうちんは、その顔役として市のPRに大きな役割を果たしています。



山口県を代表する工芸品に

県を代表する工芸品には萩市の萩焼や山口市の大内塗などがありますが、金魚ちょうちんもその一つです。最近では、海外で県を紹介する際に金魚ちょうちんが使われるなど、活躍の場が広がっています。



台北



ロンドン



香港



人気を集める金魚ちょうちん

金魚ちょうちんは、特に夏のイベントに彩りを添えています。次の3つのイベントの担当者にその内容や評判を聞きました。

新日屋「納涼金魚ちょうちん船」(東京都中央区)

金魚ちょうちんが屋形船を彩り、日本橋から隅田川をクルーズするイベントを行っています。浴衣でお出かけいただく企画として始め、金魚ちょうちんと浴衣姿がよくマッチしていると好評です。風になびく金魚ちょうちんの姿は大いに風情があり、乗船者に癒しを与えています。



ホテル雅叙園東京 企画展「和のあかり×百段階段」(東京都目黒区)



ホテル内の都指定有形文化財「百段階段」で行われる企画展にて、平成27年から毎年金魚ちょうちんを展示しています。累計約37万人の来場者を数え、毎年テーマも変わる中、金魚ちょうちんはその愛らしさから、当初より人気があります。

新川さくら館「金魚ちょうちんまつり」(東京都江戸川区)

金魚ちょうちんが装飾され、和船で和楽器の演奏会などを行う祭りです。地域の小学生が色付けた金魚ちょうちんが館内を彩り、そばを流れる新川沿いに飾られた約400個の金魚ちょうちんには、夕暮れ時に明かりが灯ります。東京で暮らす柳井生まれの人が訪れた際には、懐かしいと喜ばれています。

